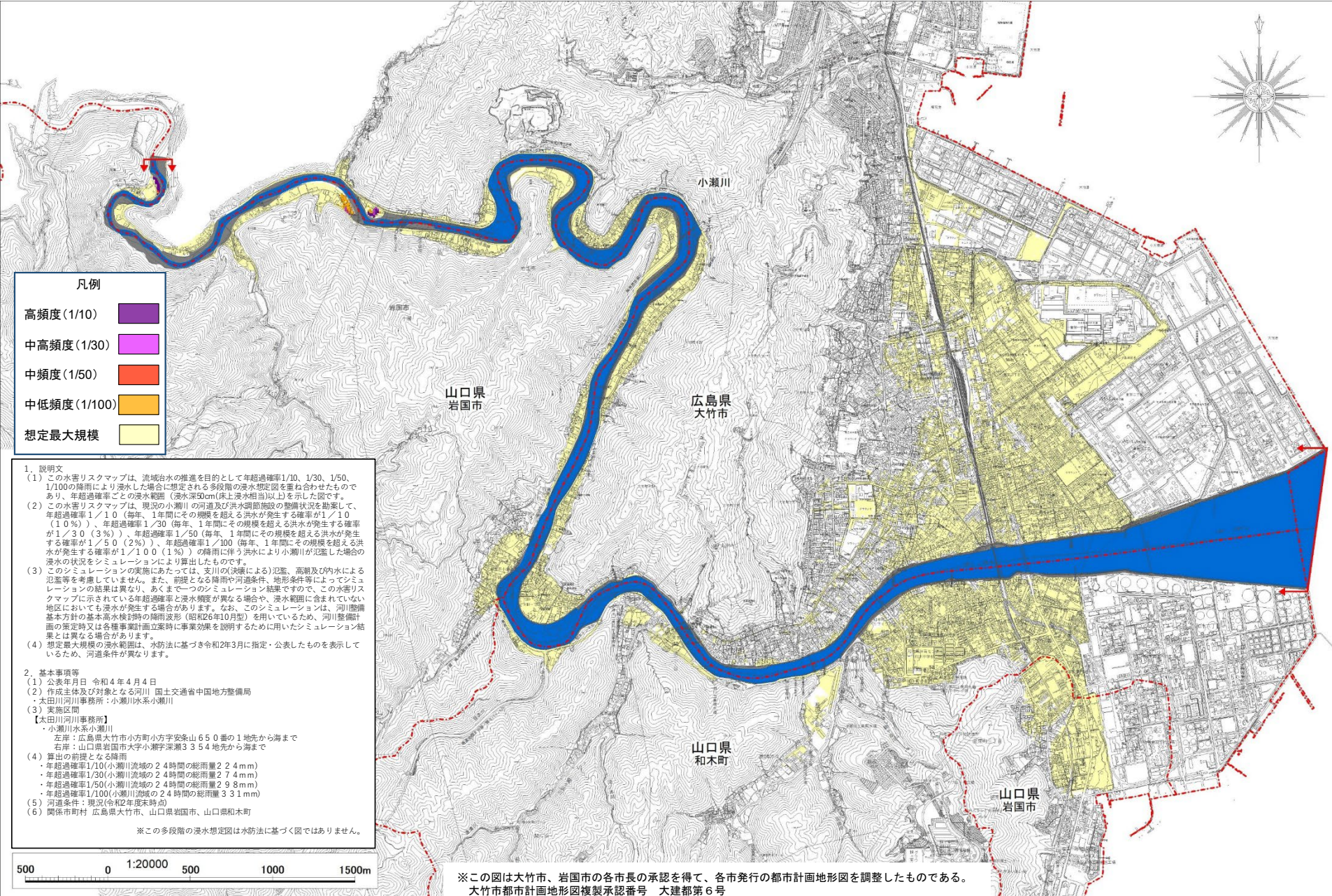


小瀬川水系 大臣管理区間からの氾濫を想定した水害リスクマップ

【現況河道】

浸水深50cm(床上浸水相当)以上の
浸水が想定される範囲を表示



凡例

高頻度 (1/10)	■
中高頻度 (1/30)	■
中頻度 (1/50)	■
中低頻度 (1/100)	■
想定最大規模	■

1. 説明文

(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深50cm(床上浸水相当)以上）を示した図です。

(2) この水害リスクマップは、現況の小瀬川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水により小瀬川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) このシミュレーションの実態にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検算時の降雨波形（昭和26年10月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

(4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和2年3月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等

(1) 公表年月日 令和4年4月4日

(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省中国地方整備局
・太田川河川事務所：小瀬川水系小瀬川

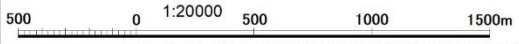
(3) 実施区間
【太田川河川事務所】
・小瀬川水系小瀬川
左岸：広島県大竹市小方町小方宇安家山650番の1地先から海まで
右岸：山口県岩国市大字小瀬字深瀬3354地先から海まで

(4) 算出の前提となる降雨
・年超過確率1/10(小瀬川流域の2.4時間の総雨量22.4mm)
・年超過確率1/30(小瀬川流域の2.4時間の総雨量27.4mm)
・年超過確率1/50(小瀬川流域の2.4時間の総雨量29.8mm)
・年超過確率1/100(小瀬川流域の2.4時間の総雨量31.1mm)

(5) 河道条件：現況(令和2年度末時点)

(6) 関係市町村 広島県大竹市、山口県岩国市、山口県和木町

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

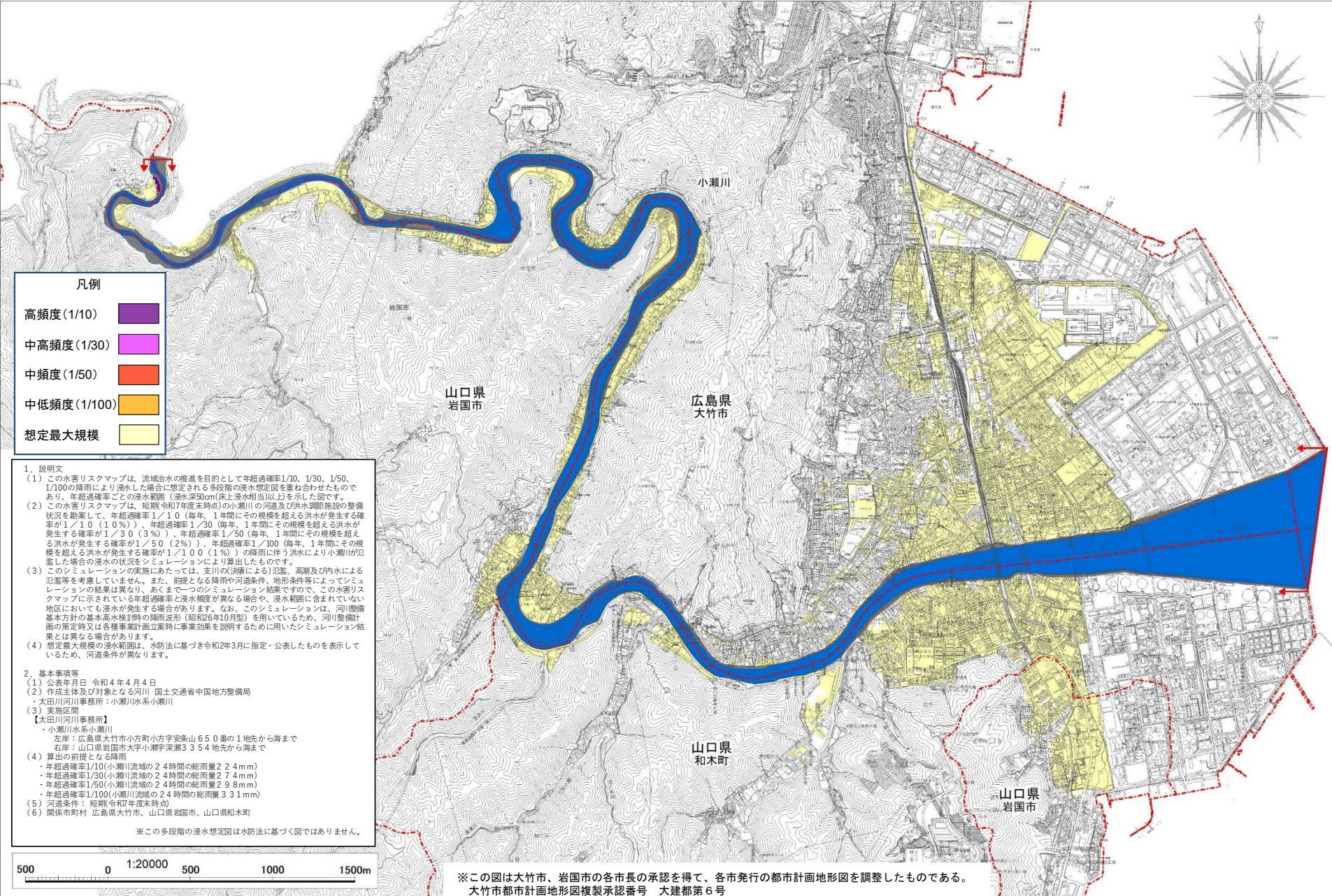


※この図は大竹市、岩国市の各市長の承認を得て、各市発行の都市計画地形図を調整したものである。
大竹市都市計画地形図複製承認番号 大建都第6号
岩国市都市計画地形図複製承認番号 平27都市第694号

小瀬川水系 大臣管理区間からの氾濫を想定した水害リスクマップ

【短期河道】

浸水深50cm(床上浸水相当)以上の
浸水が想定される範囲を表示



凡例

高頻度 (1/10)	■
中高頻度 (1/30)	■
中頻度 (1/50)	■
中低頻度 (1/100)	■
想定最大規模	■

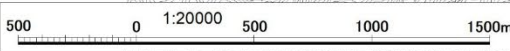
1. 説明文

- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深50cm(床上浸水相当)以上）を示した図です。
- (2) この水害リスクマップは、短期(令和7年度末時点)の小瀬川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水により小瀬川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和26年10月型）を用いているため、河川整備計画の想定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
- (4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和2年3月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等

- (1) 公表年月日 令和4年4月4日
- (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省中国地方整備局
・太田川河川事務所：小瀬川水系小瀬川
- (3) 実施区間
【太田川河川事務所】
・小瀬川水系小瀬川
左岸：広島県大竹市小方町小方字安楽山650番の1地先から海まで
右岸：山口県岩国市大字小瀬字深瀬3354地先から海まで
- (4) 算出の前提となる降雨
・年超過確率1/10(小瀬川流域の2.4時間の総雨量2.24mm)
・年超過確率1/30(小瀬川流域の2.4時間の総雨量2.74mm)
・年超過確率1/50(小瀬川流域の2.4時間の総雨量2.98mm)
・年超過確率1/100(小瀬川流域の2.4時間の総雨量3.31mm)
- (5) 河道条件：短期(令和7年度末時点)
- (6) 関係市町村 広島県大竹市、山口県岩国市、山口県和木町

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。



※この図は大竹市、岩国市の各市長の承認を得て、各市発行の都市計画地形図を調整したものである。
大竹市都市計画地形図複製承認番号 大建都第6号
岩国市都市計画地形図複製承認番号 平27都市第694号